

アロマテラピーという言葉がこの世に送り出したのは、フランスの科学者であるルネ・モーリス・ガットフォッセ氏である。彼が研究中に手に火傷を負ってしまったときにラベンダーオイルに浸したところ、驚くほどの早さで完治したそう。このことをきっかけに植物にある芳香成分の研究が始まり、1928年に発表した「芳香療法」という著書のなかで「アロマテラピー」という言葉が初めて記されたのである。

アロマテラピーで用いられる香りには、さまざまな有効成分が含まれている。その香りの源となる「エッセンシャルオイル」は、植物から採取される100%ピュなものから構成されている。このオイルを使用して、芳香浴やマッサージなどを行い、心身の両面から元気にしていく健康法がアロマテラピーなのである。